

1

はじめに

本県は、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故による災害からの歩みを進めている一方で、避難生活の長期化や生活環境の変化などに伴う健康指標の悪化が大きな課題となっています。特に生活習慣病の危険因子となるメタボリックシンドローム該当者の割合が、平成29年度では全国ワースト4位と高く、またそれに関連して高血圧や糖尿病などの基礎疾患を持つ人の割合も全国的に見て高い状況にあります。

そこで、県では生活習慣病の予防・改善に向けた取組をより効果的に進めるため、平成29年度より民間企業のノウハウを活用した市町村の実践的かつ意欲的な健康づくりを支援する、「市町村先駆的健康づくり実施支援事業」を実施しています。

令和元年度は民間企業10社より、健康支援の実施から評価までをパッケージにしたプログラムを御提案いただき、マッチングの結果、23市町村で提案プログラムを活用した事業が展開されました。御協力いただきました企業の皆様には深く御礼申し上げます。

このたび、本取組を「福島モデル」として幅広く周知するため、実施市町村に御協力いただき事例集としてまとめましたので、健康づくり事業等に御活用いただけますと幸いです。

今後とも全国に誇れる健康長寿県の実現に向け、健康寿命の延伸及び健康格差の縮小を加速化させるため、県、市町村、関係団体及び職域等の連携を強化し取組を進めて参りますので、関係者の皆様におかれましては引き続き御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。